

事業所名

通所支援事業所はなうた（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		○明るい笑顔・挨拶・返事に努めます。○安心・安全に努めます。○和顔愛語で接することに努めます。○地域貢献に努めます。○自己研鑽に努めます。 ○皆様の笑顔と喜びと明日への希望をつなぐ支援を心がけます。					
支援方針		子どもたちの「ドキドキ」「ワクワク」を大切にします。お友達と一緒に実際見て、聞いて、触って、遊びを通して「楽しい」を積み重ねていくことで、心と体の成長につながる支援を行います。					
営業時間		9 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり（要相談）
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・バイタルチェック及び全身状態の把握を行い、異常の早期発見・対応を行います。意思表示が困難な児に対する障がいの特性や発達の過程・特性を考慮し、きめ細やかな観察・対応を行います。・健康の増進（粗大運動遊び・散歩・リトミック活動・トランポリン等）・基本的な生活スキルの獲得（食事・衣類の着脱・排泄等手順書の掲示や補助手段を活用した支援・荷物置き場を明確化し整理整頓の支援）・構造化による生活環境（わかりやすい時間や空間の構造化）・自立支援と日常生活の充実のための活動（挨拶・基本的な日常動作の訓練等）					
	運動・感覚	・日々の生活の中で、活動を通して身体機能の維持・向上を図ります。（活動と参加）・姿勢と運動・動作の向上（サーキット・体幹トレーニング・トランポリン等）・動作の補助手段の活用（音楽に合わせて体を動かす遊びや運動・運動遊び・両足ジャンプ等）・身体移動の能力の向上（しっぽとり・踏み台昇降・バランスボール等）・保有する感覚の総合的な活用（リトミック・ボールプール・連続ジャンプ・平均台等）・感覚の補助及び代行手段の活用・感覚の特性（感覚の過敏・鈍麻への対応、感覚の理解、環境整備感覚に特性がある児への配慮・箱の中身あてゲーム等）					
	認知・行動	・共に行う生活行為やレクリエーションにおいて、視覚・聴覚・触覚などを用いた情報入力を行い、認知機能の発達を促します。その際、児の特性に合わせたアプローチ方を選択していきます。また、認知から行動できるように支援していきます。・感覚や認知の活用（パズル・知育玩具・五感、バランスを使った遊び等）・知覚から行動への認知過程の発達（粘土、スライム、水遊び、ビジョントレーニング、物質の変化と感覚に関する認知の形成等）・認知や行動への手掛かりとなる概念の形成（ブロック遊び、ボール転がし、具体的な指示・手順書・時間に関する認知の形成（スケジュールの提示）・空間認知に関する認知の形成（ブロック遊び、ビー玉転がし等）・数量、大小、色などの習得（知育玩具：マッチング、大小仲間わけ、色や形を答えよう。・教材・学習プリント等）・認知への偏りの対応（環境設定、小集団での対応、手順書、適切な行動の形成、認知の偏りへの配慮：ルール遊び、SST等）・行動障害への予防、及び対応（適切な行動の形成・認知の偏りへの配慮、ルール遊び、保護者との共通理解、季節の変化への興味などの感性の形成：戸外活動、季節行事の制作活動、季節の散策等）					
	言語コミュニケーション	・ご家庭や園との連携を図り、個々の児に合った言葉、もしくは絵カード、身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを用いて相互理解を図っています。場面に応じた表情や発語から、児の気持ちを汲み取り、共有・共感することで共同注意などのコミュニケーション能力の向上に繋げていきます。・言葉の活用と形成（絵本や紙芝居の読み聞かせ、お題タッチボールでの語彙、語想起の向上等）・受容言語と表出言語支援（言語聴覚士による個別の対応、気持ちの代弁等）・指さし、身振り、サイン等の活用（気持ちの表出、援助要求、物の用途を伝えよう等）・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（SST、異年齢療育、小集団療育でのコミュニケーションの向上、わらべ歌遊び等）・非言語コミュニケーション活用（指さし、身振り、サイン、絵カード等）・読み書き能力の向上のための支援（言語聴覚士による個別の対応、教材による読み書き等）・言語に特性がある児への配慮（言語聴覚士による個別の対応、コミュニケーション機器手段の活用、絵カード、タブレット、口の体操等、構音機能の向上等）					
人間関係 社会性	・スキンシップ遊び等を通して、アタッチメント形成を図り、情緒が安定することで安心して過ごせるように支援していきます。児の特性に合わせた感覚運動遊びから象徴遊び、一人遊びから協同遊びを通して社会性の発達支援を行います。・アタッチメントの形成（スキンシップ遊び等）・模倣行動への支援（役割遊び、ロールプレイ、ビジョントレーニング等）・感覚運動遊びから象徴遊びへの支援（見立て遊びやごっこ遊び、レクリエーション等）・1人遊びから協同遊びへの支援（鬼ごっこなどの役割のある遊び、ルールのある遊び等）・自己理解とコントロールの為の支援（絵本の読み聞かせや紙芝居による共感の練習、気落ちや表情のわかる絵カード使用、小集団活動で気持ちのコントロール等）・集団参加への支援（社会資源の活用：公園）						
家族支援	・事業所での支援をご家庭と共有することで、よりよい支援につなげていけるよう心がけています。SNSや広報誌を利用して、児の様子を共有しています。ご家族参加型の行事や研修等を行っています。子育ての困り事への相談援助を行っています。			移行支援		・併用利用先や小学校との情報共有や支援のすり合わせを行っています。	
地域支援・地域連携	・併用事業所や保育園・幼稚園などの情報連携や調整、支援方法や環境調整等の相談援助を行います。医療機関との情報共有や調整を行います。管轄地区である消防との連携を行っています。職場体験の受け入れ等地域住民との交流を図ります。			職員の質の向上		・県社協のキャリアアップ研修、専門研修、課題別研修への派遣を行っています。虐待防止・身体拘束等の研修への派遣や内部研修の実施しています。法人・事業所の運営に関わる資格取得へ派遣しています。	
主な行事等	1月：お正月遊び（かるた遊び等）2月：節分 3月：ひな祭り 4月：お花見 5月：こいのぼり見学 6月：あじさい製作 7月、8月：プール遊び 9月：運動会 10月：ハロウィン 11月：紅葉狩り 12月：クリスマス会						